

沖縄キリスト教学院大学
2017年度 後期
授業改善アンケート結果報告書

2018年5月28日

IRセンター

はじめに

2014年度から続く授業改善アンケートは、学生たちとともに授業を創るという理念のもと、学生の回答に対する教員のコメントを付記し、集計結果とともに学内ホームページで公開することで、授業改善の材料にするとともに学生へのフィードバックの役割も果たしている。本アンケートの特徴は以下の通りである。

- ① 「履修動機についての質問」「学生自身の授業への取り組み」「授業への評価」「授業から得られた達成度」「総合的評価」「記述回答」の6つのカテゴリーに分類し、各教員が個々に、また、学部全体として、アンケート調査を分析的に検討できる。
- ② 授業開始直後に15分間を確保しアンケートの回答に充てる。学生にとっては、「振り返り」という教育的な意義があり、教員の側としては、しっかりとした記述回答の時間を学生に保障し、よりよい改善のための資料を得ようとする意図がある。
- ③ 授業改善アンケートの数値的評価、記述によるコメントは、授業ごとに学内HPで公表し、担当教員は改善に向けてのコメントを付す（コメントは200字以内）。学生たちは、自らのコメントが授業改善に生かされることを自覚し、より真剣にアンケートに回答するようになっている。また教員は、自らの授業への説明責任を果たす機会を得ることができる。さらに公表された授業改善アンケートは、シラバスとともに次学期以降の学生の授業選択の材料ともなる。

各質問項目の意図を以下に説明する。

履修動機について（質問1）

この質問は、学生が授業を選択する際の動機について問う質問である。選択肢として10個用意しており、その中から3つを選ぶ。

質問1 履修動機 3つを選択せよ

- ①授業内容に関心があったから ②教員に魅力があったから ③単位がとりやすそうだから ④友だちが多く履修しているから ⑤自分の専門に関係が深い分野だから ⑥幅広い教養を身につけるため ⑦先輩に勧められたから ⑧希望授業が取れなかったので仕方なく ⑨必修（あるいは免許取得に必要）だから ⑩その他

I. 学生自身の授業への取組（質問2～6）

従来の授業改善アンケートは、教員の授業を学生が評価する、という意味合いを有して

いた。しかし、授業とは教員と学生とがともに創り上げるものであり、学生自身の取り組みもまた自省されなくてはならない。また、どれほど積極的な学びを促すことができたかを教員は確認しなくてはならない。具体的には、質問のあとに特に選択肢が示されていない限り、「①そう思わない ②あまりそう思わない ③どちらともいえない ④そう思う ⑤大いにそう思う ⑥質問がこの授業に該当しない」という6項目の中から選択して回答する。

質問2	欠席回数 (①4回以上 ②3回 ③2回 ④1回 ⑤皆出席)
質問3	真面目に授業参加
質問4	事前準備
質問5	発展的学習
質問6	週平均の授業時外学習時間 (①ほぼ0時間 ②1時間未満 ③1～2時間 ④2～3時間 ⑤3時間以上)

II. 学生による教員への授業評価 (質問7～19)

この質問群では、狭義の授業改善アンケートといえるもので、教員の授業技術、方法、内容などの具体的な事柄を問うており、教員は改善点を見出すことができる。具体的には次のような質問を用意した。

質問7	聞きやすい話し方
質問8	各回の授業内容の量が適切だった
質問9	各回の授業内容は明確だった
質問10	授業を乱す行為への対応
質問11	教科書は妥当であった
質問12	補助教材は効果的であった
質問13	板書の仕方 (パワーポイントなど)
質問14	講義法以外の教授法 (討論・発表など)
質問15	教員の授業準備
質問16	宿題・課題など (①多すぎる ②すこし多い ③適切である ④すこし少ない ⑤少なすぎる)
質問17	クラスの規模 (受講学生数) (①多すぎる ②すこし多い ③適切である ④すこし少ない ⑤少なすぎる)
質問18	成績評価の基準の明確
質問19	授業実施教室は適切か

III. 授業を受けて得たもの (質問20～22)

この質問群では、学生がこの授業をうけて得たものを確認している。学生の達成度に関わる質問である。また、大学の授業において、学問的知識、専門的な知識、新しい考え方などを獲得することは重要であり、分かりやすい授業を目指すと同時に、高い専門性等を維持することが大学の教員には求められている。以下の質問項目を用意した。

質問20	新しい考え方・発想／能力の向上
質問21	基本的な専門知識

質問 22 意見をまとめて他者に伝える技術

IV.授業の総合的な評価（質問 23～26）

この質問群では、これまでの質問群を踏まえたうえで、授業の総合的な評価を行う。数値による総括的な評価である。しかし、ここで留意しなくてはならないことは、数値による授業評価が、教員評価、教員管理に容易に流用されかねない恐れである。大学の授業は、学生に分かりやすく行われるべきものであるが、それと同時に学問的・専門的知見に基づき行われるものである。学生に対して迎合的であってもいけない。あくまでもこの種のアンケートは教員個人々の授業改善を目的にして行われるべきであり、各教員の自省と研鑽と自己管理の材料として活用されるべきものである。その意味で、次の「記述による評価」と合わせて検討されるべきものである。具体的な質問項目は次の通りである。

質問 23 この授業で、自分自身が成長できた

質問 24 学問的・専門的興味をかきたてられた

質問 25 わかりやすい授業だった

質問 26 この授業を受けて満足した

記述による評価

数値による評価は比較を行う際や、全体を俯瞰する際には有効であるが、記述による評価の方が、授業改善には有効である。学生たちに、記述をより具体的に行ってもらえるように、アンケート時間を10分から15分に伸ばし、授業終了後から授業開始直後に行うようにした。ひとつひとつのコメントを丁寧に検討し、授業改善につなげていただきたい。具体的には以下の質問項目を用意した。

質問 27 この授業で良いと思ったこと

質問 28 この授業で改善すべきだと思った点

質問 29 教員が用意した質問

このような授業改善アンケートを全67科目、106クラスにおいて実施した。投与された評価票は2438件に上った。

1 学生による授業改善アンケート結果の概要

授業改善アンケートは、基本的に各教員と生徒たちの対話に基づく授業改善の材料を提供するものである。よって各教員の検討と分析が求められるものである。その内容に関しては、「記述による評価」や学内HPに掲載している「授業改善アンケートへの教員コメント」を参照いただきたい。

ここでは、数量的なデータを俯瞰することで学部全体の課題をみていく。全体的な統計にそぐわない質問項目もあるが、平均値や回帰分析をもとに述べていく。

質問項目	度数	平均値
質問1 履修動機(3つまで) (①授業内容に関心があったから ②教員に魅力があったから ③単位がとりやすそうだから ④友だちが多く履修しているから ⑤自分の専門に関係が深い分野だから ⑥幅広い教養を身につけるため ⑦先輩に勧められたから ⑧希望授業が取れなかったのでは仕方なく ⑨必修(あるいは免許取得に必要)だから ⑩その他)	6098	-
質問2 欠席回数 (①4回以上 ②3回 ③2回 ④1回 ⑤皆出席)	2399	3.27
質問3 真面目に授業参加	2415	4.31
質問4 事前準備	2427	4.12
質問5 発展的学習	2422	3.98
質問6 週平均の授業時外学習時間 (①ほぼ0時間 ②1時間未満 ③1~2時間 ④2~3時間 ⑤3時間以上)	2427	2.56
質問7 聞きやすい話し方	2424	4.52
質問8 各回の授業内容の量が適切だった	2431	4.52
質問9 各回の授業内容は明確だった	2424	4.52
質問10 授業を乱す行為への対応	2416	4.51
質問11 教科書は妥当であった	2420	4.98
質問12 補助教材は効果的であった	2421	4.86
質問13 板書の仕方(パワーポイントなど)	2345	4.49
質問14 講義法以外の教授法(討論・発表など)	2421	4.83
質問15 教員の授業準備	2403	4.62
質問16 宿題・課題など (①多すぎる ②すこし多い ③適切である ④すこし少ない ⑤少なすぎる)	2424	-
質問17 クラスの規模(受講学生数) (①多すぎる ②すこし多い ③適切である ④すこし少ない ⑤少なすぎる)	2422	-
質問18 成績評価の基準の明確	2427	4.36
質問19 授業実施教室は適切か	2418	4.56
質問20 新しい考え方・発想/能力の向上	2428	4.43
質問21 基本的な専門知識	2430	4.40
質問22 意見をまとめて他者に伝える技術	2414	4.65
質問23 この授業で、自分自身が成長できた	2422	4.41
質問24 学問的・専門的興味をかきたてられた	2428	4.37
質問25 わかりやすい授業だった	2428	4.44
質問26 この授業を受けて満足した	2425	4.49

2. 総合的な満足度からみる要因分析

本授業改善アンケートの中で、質問 26 は授業に対する総合的な満足度を表す質問とみなすことができる。そこで、この質問 26 と相関の強い質問事項を洗い出し、どのような授業が総合的な満足につながるのかを調べた。その方法として質問 26 の評価を目的変数¹（従属変数）とし、質問 7 から質問 25 の項目を説明変数²（独立変数）とした重回帰分析を行った。

		偏回帰係数	P値<0.01
質問7	聞きやすい話し方	0.017	
質問8	各回の授業内容の量が適切だった	0.103	**
質問9	各回の授業内容は明確だった	0.038	*
質問10	授業を乱す行為への対応	-0.018	
質問13	板書の仕方(パワーポイントなど)	-0.007	
質問15	教員の授業準備	0.025	*
質問20	新しい考え方・発想/能力の向上	0.059	**
質問21	基本的な専門知識	0.007	
質問23	この授業で、自分自身が成長できた	0.161	**
質問24	学問的・専門的興味をかきたてられた	0.086	**
質問25	わかりやすい授業だった	0.532	**

表 1 目的変数を質問 26 とした重回帰分析

相関を表す偏回帰係数が大きい次の 5 項目について、総合的な満足度である質問 26 の回答と強いつながりがあると考えられる。

- ・ 質問 8 各回の授業内容の量が適切だった
- ・ 質問 20 新しい考え方・発想/能力の向上
- ・ 質問 23 この授業で、自分自身が成長できた
- ・ 質問 24 学問的・専門的興味をかきたてられた
- ・ 質問 25 わかりやすい授業だった

今回の質問 26 「この授業を受けて満足した」に対する評価の平均値は 4.49 であった。また平均値 4.5 以上のクラス（授業）が 63 クラス（全体の約 62%）あり、評価が総じて高いことがわかる。次に、各クラスの質問 26 の平均値の分布をヒストグラムで表した。

¹ 目的変数：他の変数によって「説明される」変数のこと

² 説明変数：目的変数を「説明する」変数のこと

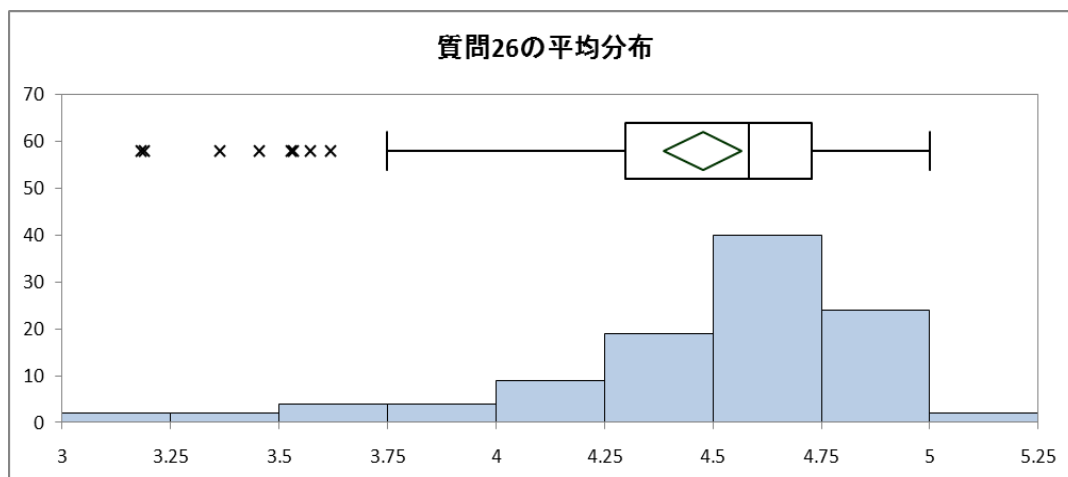


図1 質問26の平均値でみたクラスのヒストグラム

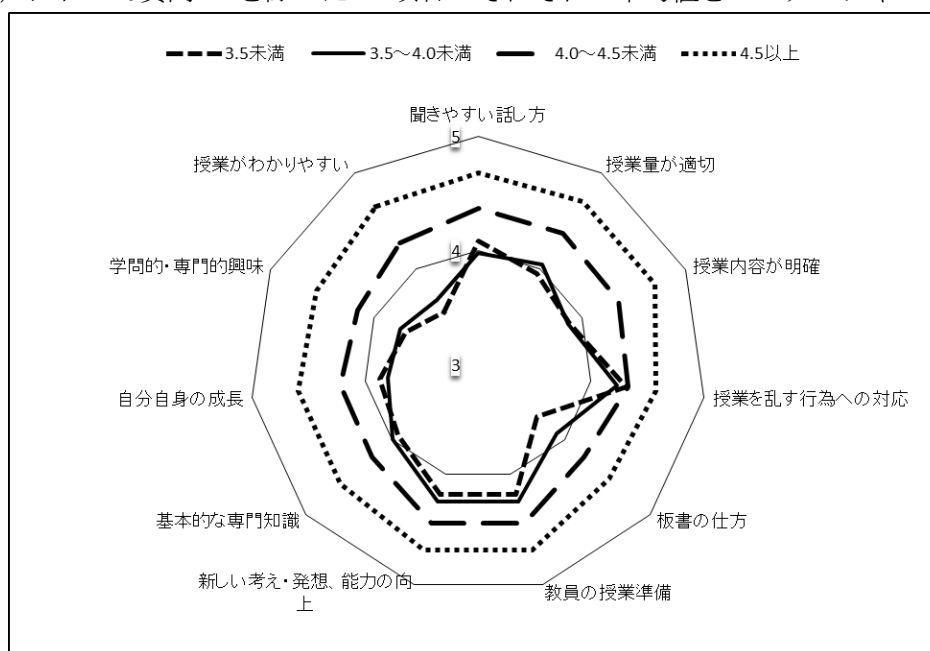
また、質問26の平均値によって次のようにクラスを4つに分類した。

質問26 この授業を受けて満足した

平均値	3.5未満	3.5～4.0未満	4.0～4.5未満	4.5以上
クラス数(実数)	4	8	26	63

表2 平均値にカテゴリー別のクラス数

表2で分類した4つのカテゴリー（3.5未満、3.5～4.0、4.0～4.5、4.5以上）に属するクラス（授業）において質問26を除いた11項目のそれぞれの平均値をレーダーチャートに表した。



(中心の基準点を 3.0 とし外に広がるに従って 4.0、5.0 と評価が高くなる)

平均値 4.0～4.5 未満や 4.5 以上のグループでは、均等に広がった形の多角形を描いているのに対し、3.5 未満や 3.5～4.0 のグループでは、いびつな形のレーダーチャートになっている。特に「質問 13 板書の仕方 (パワーポイントを含む)」「質問 25 授業がわかりやすい」と 2 つの項目では大きく内側にへこんでおり、特に評価が低いことがわかる。

これにより質問 26 の平均値が 4.0 以上のクラスは、他の 11 項目についても総じて高く、逆に、平均値が 4.0 未満の授業は、授業のわかりやすさや板書の仕方について、比較的評価が低いことがわかる。

学生にとって「わかりやすい授業」というのはどのような特徴をもつのかを先ほどの要因分析と同じ項目を使って分析していく。今度は「質問 25 わかりやすい授業だった」を目的変数とする。

		偏回帰係数	P値<0.01
質問7	聞きやすい話し方	0.118	**
質問8	各回の授業内容の量が適切だった	0.069	**
質問9	各回の授業内容は明確だった	0.166	**
質問10	授業を乱す行為への対応	-0.028	
質問13	板書の仕方(パワーポイントなど)	0.038	**
質問15	教員の授業準備	0.025	
質問20	新しい考え方・発想/能力の向上	-0.018	
質問21	基本的な専門知識	0.067	**
質問23	この授業で、自分自身が成長できた	0.260	**
質問24	学問的・専門的興味をかきたてられた	0.316	**

「わかりやすい授業」との相関が高いのは、以下の 7 項目でした。

- 聞きやすい話し方
- 各回の授業内容の量が適切だった
- 各回の授業内容は明確だった
- 板書の仕方 (パワーポイントなど)
- 基本的な専門知識
- この授業で、自分自身が成長できた
- 学問的・専門的興味をかきたてられた

特に数値が大きい項目は「自身の成長」と「学問的・専門的興味」の 2 つでした。しかし、数値の低い項目を無視していいというわけではなく、「学生の興味・関心が刺激される」、「自信の成長が実感できる」、そのような時に授業がわかりやすく感じられ、総合的な満足度が上がると予測されます。

3 自由記述による評価（改善点を中心に）

自由記述による授業評価は、①授業の良い点、②改善してほしい点、③教員が用意した質問の3つの設問から構成されている。数値からは知り得ない学生の生の声・本音に触れられるところが、自由記述評価の長所・利点といえる。

質問27の回答からは、キリスト教についての学びや聖書について理解が深められたとするコメントが多くみられた。キリスト教だけではなく、沖縄の歴史や方言、英米文学や歴史についても「楽しく学べた」、というコメントが多い。オーラルの授業を中心としてグループディスカッションやプレゼンによる授業スタイルも多く、「難しかったが（プレゼンの）力がついた」といった成長を実感できるようなコメントも多い。学生からのコメントからもアクティブラーニングによる授業成果がうかがえる。

質問28の回答からは、学生が授業中に気になったことや教員への要望としてのコメントがみられる。「なし」「特になし」が多く、意見を述べる量は少ないが、これら学生からの声を貴重な意見として今後の授業にいかしてほしい。

質問29は教員が任意で用意した質問に対する学生からの回答である。この欄を利用したのは92クラス中29クラスで、教員の数は26人中13人でした。いろいろな質問を学生に問うことができるので、さらなる利用が望まれる。

おわりに

授業改善アンケートに協力してくれた教員の方々や学生の皆さま、また、関係部署の皆さま、ご協力ありがとうございました。

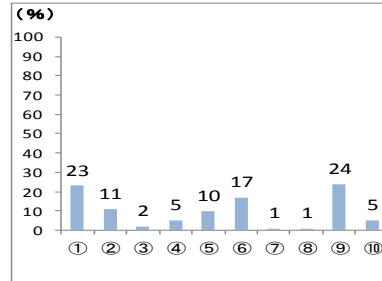
今後、このアンケート調査の結果をより有意義な情報にするために、質問事項の見直しや、学生のフィードバックのために、関係各所とのスムーズな連携ができるとよいと思う。また、この授業改善アンケートが教員の評価を決定づけるものではなく、個々の教員の授業改善の材料となり、学部の教育力の向上に繋がり、学生の修学意欲を高める役割を担っていることを期待する。

履修動機について（質問 1）

質問 1 この授業を履修した動機を最も適切なものを3つ選択して下さい。

- ①授業内容に関心があったから
- ②教員に魅力があったから
- ③単位がとりやすそうだから
- ④友だちが多く履修しているから
- ⑤自分の専門に関係が深い分野だから
- ⑥幅広い教養を身につけるため
- ⑦先輩に勧められたから
- ⑧希望授業が取れなかったので仕方なく
- ⑨必修（あるいは免許取得に必要）だから
- ⑩その他

質問 1 履修動機

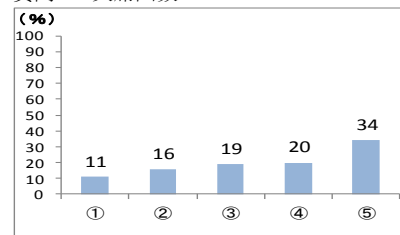


I. 学生自身の授業への取組（質問 2～6）

質問 2 授業全体を通じての欠席回数は何回くらいですか。

- ① 4 回以上
- ② 3 回
- ③ 2 回
- ④ 1 回
- ⑤ 皆出席

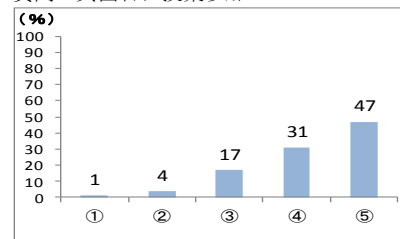
質問 2 欠席回数



質問 3 私語・居眠りなどせず真面目に授業に参加した。

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いにそう思う

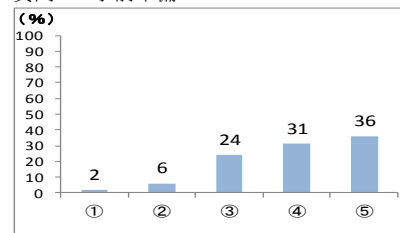
質問 3 真面目に授業参加



質問 4 この授業の履修にあたって十分な準備ができていた（どのような授業か調べて履修したか、自分の学力レベルにあっているかを確認したか、など）

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いにそう思う

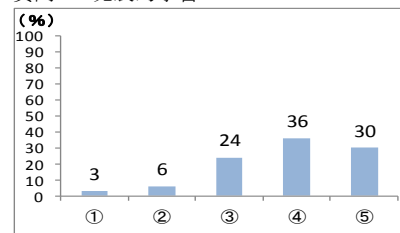
質問 4 事前準備



質問 5 授業をきっかけにして自分自身で発展的な学習をした

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いにそう思う

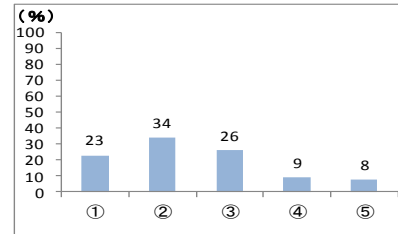
質問 5 発展的学習



質問6 この授業に関連して、授業時以外に学習した時間（平均して1週間で）

- ① ほぼ0時間
- ② 1時間未満
- ③ 1～2時間
- ④ 2～3時間
- ⑤ 3時間以上

質問6 週平均の授業時外学習時間

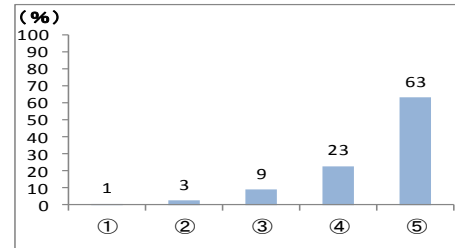


II. 学生による教員への授業評価（質問7～19）

質問7 聞きやすい話し方だった（スピード・音量・マイクなども含む）

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いにそう思う

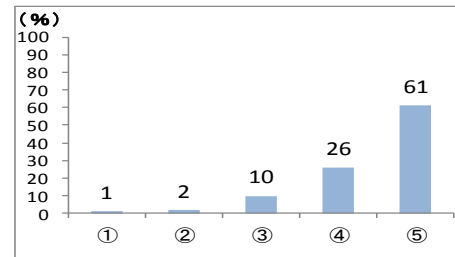
質問7 聞きやすい話し方



質問8 各回の授業内容の量が適切だった

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いにそう思う

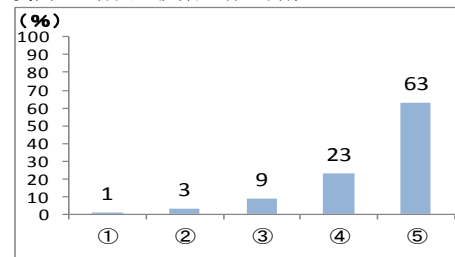
質問8 各回の授業内容の量が適切だった



質問9 各回の授業内容は明確だった

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いにそう思う

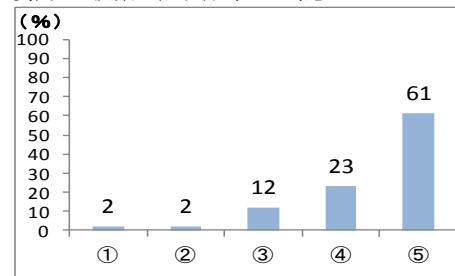
質問9 各回の授業内容は明確だった



質問10 教員は授業を乱す行為（私語・携帯電話・メール・居眠り・中座等）に対して適切な対応をした

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いにそう思う

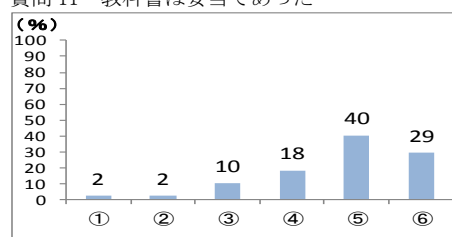
質問10 授業を乱す行為への対応



質問 11 教科書（難易度・使用頻度など）は妥当であった

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いにそう思う
- ⑥ 質問がこの授業には該当しない

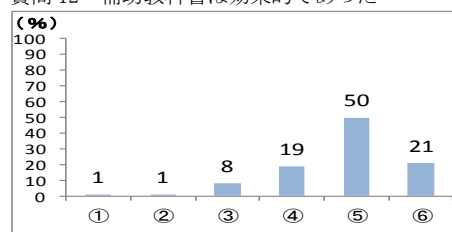
質問 11 教科書は妥当であった



質問 12 補助教材（授業プリント・視聴覚教材）は効果的であった

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いにそう思う
- ⑥ 質問がこの授業には該当しない

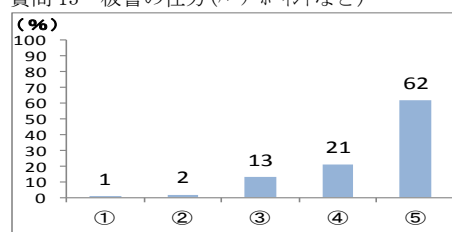
質問 12 補助教科書は効果的であった



質問 13 板書の仕方（あるいはパワーポイントなど）は適切だった

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いにそう思う

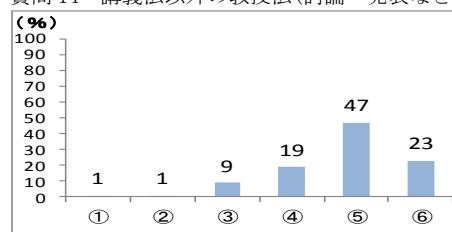
質問 13 板書の仕方（パワーポイントなど）



質問 14 教員は説明中心な講義法以外の教授法（討論・発表など）を必要に応じて適切に用いていた

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いにそう思う
- ⑥ 質問がこの授業には該当しない

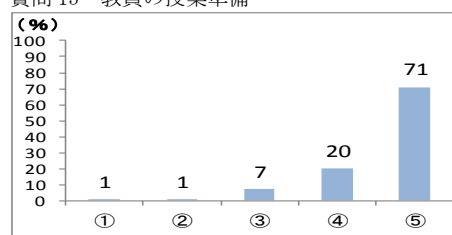
質問 14 講義法以外の教授法（討論・発表など）



質問 15 教員は授業の準備を周到に行っていた

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いにそう思う

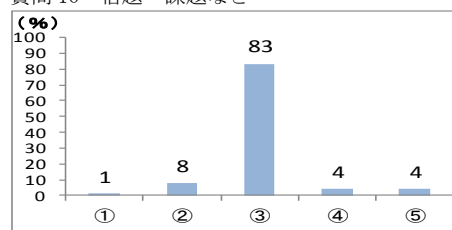
質問 15 教員の授業準備



質問 16 宿題・課題など授業外に必要な学習の時間や量は適切だったか

- ① 多すぎる
- ② すこし多い
- ③ 適切である
- ④ すこし少ない
- ⑤ 少なすぎる

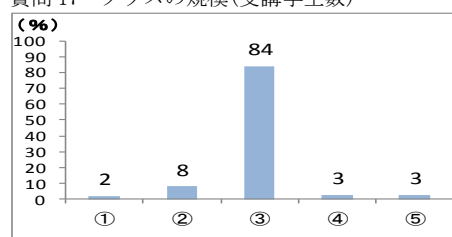
質問 16 宿題・課題など



質問 17 クラスの規模（受講学生数）は適切だったか

- ①多すぎる
- ②すこし多い
- ③適切である
- ④すこし少ない
- ⑤少なすぎる

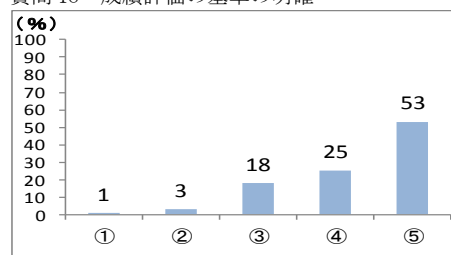
質問 17 クラスの規模(受講学生数)



質問 18 成績評価の基準を明確に示していたか

- ①そう思わない
- ②あまりそう思わない
- ③どちらともいえない
- ④そう思う
- ⑤大いにそう思う

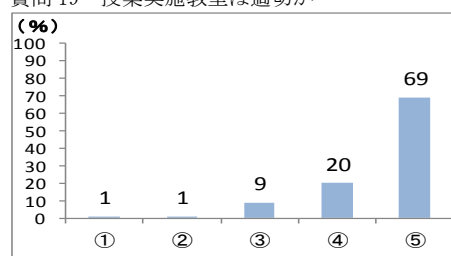
質問 18 成績評価の基準の明確



質問 19 授業実施教室（広さ・明るさ・設備・視聴覚機器の配置）は適切であったか。

- ①そう思わない
- ②あまりそう思わない
- ③どちらともいえない
- ④そう思う
- ⑤大いにそう思う

質問 19 授業実施教室は適切か

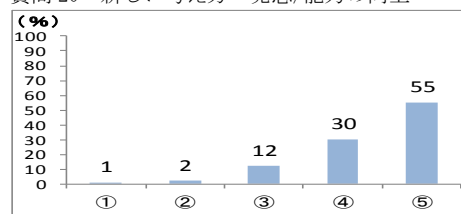


Ⅲ. 授業を受けて得たもの（質問 20～22）

質問 20 新しい考え方・発想を獲得した/今まで持っていた能力を向上できた

- ①そう思わない
- ②あまりそう思わない
- ③どちらともいえない
- ④そう思う
- ⑤大いにそう思う

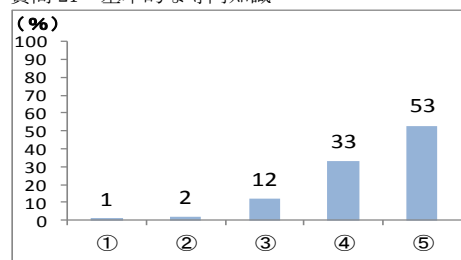
質問 20 新しい考え方・発想/能力の向上



質問 21 授業で扱った分野に関する基本的な専門知識を得ることができた。

- ①そう思わない
- ②あまりそう思わない
- ③どちらともいえない
- ④そう思う
- ⑤大いにそう思う

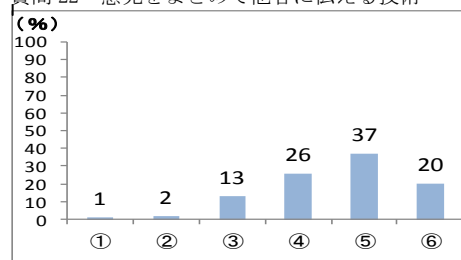
質問 21 基本的な専門知識



質問 22 自分の意見をまとめて他者に伝える技術（発表・レポート）を得ることができた。

- ①そう思わない
- ②あまりそう思わない
- ③どちらともいえない
- ④そう思う
- ⑤大いにそう思う
- ⑥質問がこの授業に該当しない

質問 22 意見をまとめて他者に伝える技術

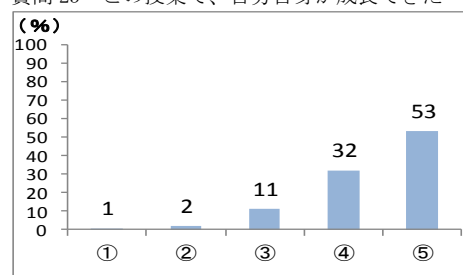


IV.授業の総合的な評価（質問23～26）

質問 23 この授業をつうじて、自分自身が成長できた

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いに思う

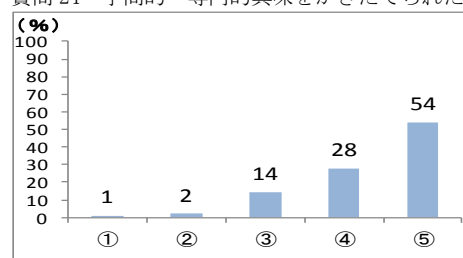
質問 23 この授業で、自分自身が成長できた



質問 24 学問的・専門的興味をかきたてられた

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いに思う

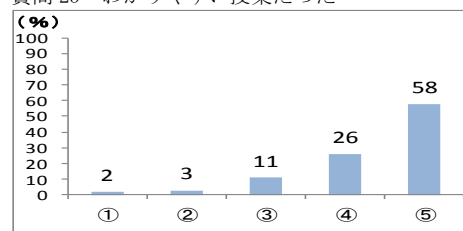
質問 24 学問的・専門的興味をかきたてられた



質問 25 わかりやすい授業だった

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いに思う

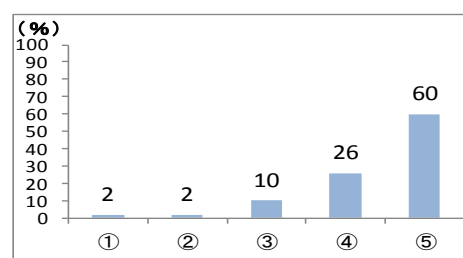
質問 25 わかりやすい授業だった



質問 26 この授業を受けて満足した

- ① そう思わない
- ② あまりそう思わない
- ③ どちらともいえない
- ④ そう思う
- ⑤ 大いに思う

質問 26 この授業をうけて満足した



沖縄キリスト教学院大学 授業改善アンケート

このアンケートは、沖縄キリスト教学院大学の授業を改善し、さらに充実させることを目的に行われます。アンケートは、適切に処理されたうえで各教員に配布され、各教員が生データを見ることはありませんので、あなたの成績評価に影響することはありません。大学を構成する重要な一員である学生として、皆さん自身が大学教育をより良いものにするという意識のもとに、率直かつ責任を持って回答して下さい。集計されたデータは、本学 HP で公表され、全学生・教職員が確認できます。また、教員からの全般的な応答も確認できます。他の学生の授業履修の参考材料にもなりますので責任を持った記述をお願いします。

<履修動機についての質問>

質問1 この授業を履修した動機を最も適切なものを3つ選択して下さい。	選択肢	
①授業内容に関心があったから	1	2
②教員に魅力があったから	3	4
③単位がとりやすそうだから	5	6
④友だちが多く履修しているから	7	8
⑤自分の専門に関係が深い分野だから	9	10
⑥幅広い教養を身につけるため		
⑦先輩に勧められたから		
⑧希望授業が取れなかったので仕方なく		
⑨必修（あるいは免許取得に必要）だから		
⑩その他		

<数値による評価>

以下の項目に対して、あなたにとって5段階のどの評価であるか、評価欄のあてはまる数字に○をつけて下さい。

- ①そう思わない ②あまりそう思わない ③どちらともいえない ④そう思う ⑤大いにそう思う
⑥質問がこの授業には該当しない

I この授業へのあなたの取り組みについて、以下の項目にどの程度当てはまりますか。	評価欄
質問2 授業全体を通じての欠席回数は何回くらいですか ①4回以上 ②3回 ③2回 ④1回 ⑤皆出席	1 2 3 4 5
質問3 私語・居眠りなどせずに真面目に授業に参加した	1 2 3 4 5
質問4 この授業の履修にあたって十分な準備ができていた（どのような授業か調べて履修したか、自分の学力レベルにあっているかを確認したか、など）	1 2 3 4 5
質問5 授業をきっかけにして自分自身で発展的な学習をした	1 2 3 4 5
質問6 この授業に関連して、授業時以外に学習した時間（平均して1週間で） ①ほぼ0時間 ②1時間未満 ③1～2時間 ④2～3時間 ⑤3時間以上	1 2 3 4 5

II この授業の進め方などに関連して、以下の項目にどの程度当てはまりますか。	評価欄
質問7 聞きやすい話し方だった（スピード・音量・マイクなども含む）	1 2 3 4 5
質問8 各回の授業内容の量が適切だった	1 2 3 4 5
質問9 各回の授業内容は明確だった	1 2 3 4 5
質問10 教員は授業を乱す行為（私語・携帯電話・メール・居眠り・中座等）に対して適切な対応をした	1 2 3 4 5
質問11 教科書（難易度・使用頻度など）は妥当であった	1 2 3 4 5 6
質問12 補助教材（授業プリント・視聴覚教材）は効果的であった	1 2 3 4 5 6
質問13 板書の仕方（あるいはパワーポイントなど）は適切だった	1 2 3 4 5
質問14 教員は説明中心な講義法以外の教授法（討論・発表など）を必要に応じて適切に用いていた	1 2 3 4 5 6
質問15 教員は授業の準備を周到に行っていた	1 2 3 4 5
質問16 宿題・課題など授業外に必要な学習の時間や量は適切だったか ①多すぎる ②すこし多い ③適切である ④すこし少ない ⑤少なすぎる	1 2 3 4 5
質問17 クラスの規模（受講学生数）は適切だったか ①多すぎる ②すこし多い ③適切である ④すこし少ない ⑤少なすぎる	1 2 3 4 5
質問18 成績評価の基準を明確に示していたか	1 2 3 4 5
質問19 授業実施教室（広さ・明るさ・設備・視聴覚機器の配置）は適切であったか	1 2 3 4 5

Ⅲ この授業からあなたは次のものを得ることができたと思いますか。	評価欄
質問20 新しい考え方・発想を獲得した／今まで持っていた能力を向上できた	1 2 3 4 5
質問21 授業で扱った分野に関する基本的な専門知識	1 2 3 4 5
質問22 自分の意見をまとめて他者に伝える技術（発表・レポート）	1 2 3 4 5 6

Ⅳ 総合的に見て、この授業は以下の項目にどの程度あてはまりますか。	評価欄
質問23 この授業を通じて、自分自身が成長できた	1 2 3 4 5
質問24 学問的・専門的興味をかきたてられた	1 2 3 4 5
質問25 わかりやすい授業だった	1 2 3 4 5
質問26 この授業を受けて満足した	1 2 3 4 5

<記述による評価>

みなさん自身が授業をより良いものにするという意識のもと、率直かつ責任を持って記入して下さい。みなさんの回答は、教員が読み、授業改善の参考にします。無責任な誹謗中傷は厳に慎み、真摯な回答をお願いします。もちろん成績にはいっさい影響しません。

質問27 この授業で良いと思ったことがあれば書いて下さい。

質問28 この授業で改善すべきだと思った点があれば、実現可能な改善案を具体的に書いて下さい。

質問29 教員が用意した質問【 】

科目名： _____ 学籍番号： _____ 学年 _____ 性別（男 女） 入試区分（一般 推薦 AO） _____